
鬼ごっこ

黒影

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鬼ごっこ

【Nコード】

N1481Q

【作者名】

黒影

【あらすじ】

鬼ごっこ。

みんなが知っている遊び。

その遊びが遊びじゃなかったら？

ルール説明

鬼ごっこ。よく小学生ぐらいのときに遊んでいませんでしたか？
僕は遊んでましたけどね。

この物語はフィクションです。

あゝああ 寝みーなあゝ。

俺は柊^{はなづけ} 洋介^{ようすけ}まあ普通の中学生かな？

今日も平凡な1日が始まる。

俺はそう言いながらも朝のパンを食べている。

おいしいなあ今日のは 焼きすぎたかなあ？

ピンポン。

えーす！「おっはよゝ むかえに来たぞ」

彼はいとこの えーす！ 長年一緒にいるけど 本名はわからない。

まあ 別にきにしてないけど・・・

さあそろそろ学校にいくか

俺はえーす！と共に学校に向かう。

これは見慣れた光景。

だっ たはずなのに

いつもどおりに学校につく。

教室につくと友人らが挨拶をしてくれる。

この丸い柔道部が下田^{もとだ}その右が人を笑わせるのが得意な核田^{かくた}

その右が自称メガネのメガネ（本名なんだったけ？）そして 学年
5本指に入る頭脳をもつ

よっし。

まあこんなもんかな。

授業まであと10分けどなんか時間割が全部行事になっている。
そして放送が入る。

校長「全校生徒。運動場集合」

クラス「ざわ ざわ ざわ」

えーす！「なんだろうね 生徒全員を運動場に呼ぶなんて。」
よっし「ま とりあいずいってみようぜ」

そしてクラスごとに整列する。

校長「校がマイクの前に立つ

校「今から先生主催のゲームを始めます。」

えーす！やほかの生徒「え？」

校「今日から5日間朝9時から4時までは鬼ごっこにします。」
えーす！「やった」

校「ただし捕まえたら即教室に行ってください。」

生徒その1「教室にいったらどうなるんですか？」

校「それはいかないと分かりません。」

生徒会「ほかに質問はないですか？」

ルール説明

- 1、鬼「先生から逃げる
- 2、もし捕まって教室から逃げたら処刑」夏休み全部補習
- 3、が0になったら強制教室行き

以上

校「各自いまから配布する携帯と ×3をもつとくように」

校「この携帯には配布された携帯全員の電話ばんど M アドある」
校「つかまつたらメールで捕まえられた人が送信されるます」

生徒その2「はなんですか？」

校「その へもし友人が捕まつて教室に連れて行かれてもその日の
終わりつまり4時以降で 6個で1人解放できる。」

その2「は3つしかないじゃないですか？増やす方法はないんで
すか？」

校「保健室と図書室、パソコン室にいけば増やせる。」

生徒会「それでは鬼の数の発表です。」

「1日目は2人。」

「9時に鬼が皆を追いかけます。」

「その間は自由行動です。」

9時まであと20分。

メガネや友人らと体育館に集まる。

集まり話し合う。

メガネ「5日間かゝ 逃げ切れるかな？」

柊「絶対逃げ切る」

核田「それにしても星は多くあつたほうがいいな」

えーす！「この鬼ごっこ。たぶん星が鍵だと思う。」

柊「よっしゝは星を集めにパソコン室にいつてくれ」

「皆逃げ切るぞ」

キンコーン

9時のチャイム

今 柊の逃走劇が始まろうとしていた。

鬼ごっこスタート

前回 柊 達の逃走劇が始まった。

校「ばかな 奴らめ このゲームの意味をまだ知らない」
生徒会「そうですよね」

校・生徒会「。(^Д^)。 。ギャハハ!。(。 ^Д^)
。ギャハハ!。(。 ^Д^)。ギャハハ!」

柊「今何時だ?」

下「10時30分」

俺は柊。

今は下田、核田、えーす!、メガネとともに行動している。

ピリリリリリリ

俺の携帯に着信音。

メール数を見てみるとすでに50人。

もう捕まった人数が50人もいるなんて。

ちよつとまてよ うちの学校の全校生徒

は250人くらい。

もう5分の1も捕まったのか。

なぜ鬼どもはそんな30分で50人も捕まえられるんだ
携帯・・・

そうだ

柊「お前ら 携帯をだせ」

皆は柊の指示に従い柊の前にだす。

柊「皆。よく考えてみる たった1時間30分で50人おかしくね
えか？」

えーす！「そういえば」

柊「そうだ こいつにはたぶんGPSがついている」

「それか 電話の発信を逆探知して場所を特定しているかだ。」

えーす！「よっし〜は大丈夫なのか？」

柊「なあくにちゃんとあいつにはこの学校から配布された奴じゃなく

自前のを持っているから大丈夫だよ」

核「なあお面をかぶった2人がこっちにきているんだけど」

柊「まじか 逃げろ」

一方そのころ よっし〜 は？

よっし〜「はあはあ やつと着いたぞ パソコン室」

ナレーション「柊達は携帯のGPS機能を見抜きよっしはパソコン室に着いた。

とは？」

柊達は逃げ切るのだろうか？そして を増やす方法

逃げたその先には

核「なあお面をかぶった2人がこっちにきているんだけど」
柊「まじか 逃げる」

俺は柊 今はとりあわず走ってるかな？

柊「あいつ足はえゝよ」

今は 走る 事で精一杯。

核「ちよいまち」

えーす！「どうした？」

核「鬼があそこで止まっている。」

柊「どうしてだ？」

メガネ「あれ？ なにこいつ？」

下「なんか猫っぽいけど妙にでかくね？」

メガネ「それを言うならライオンだろ」

皆「。(。^Д^。)。。ギャハハ！。(。^Д^。)。。ギ
ヤハハ！。(。^Д^。)。。ギャハハ！」

柊「笑ってる場合じゃねえよ とりあわず逃げる」

ε||ε||ε||ヅ(＊。エ。)ノパタパタε||ε||ε||ヅ(＊。エ。)ノパタパタ
ε||ε||ε||ヅ(＊。エ。)ノパタパタ

柊「おい下田 なに転んでんだよ」

下「ごめん 俺あんまりスタミナないんだよ」

「それより前！」

鬼 鬼

柊「やばい捕まる」

ブルブル（；。エ。；）ブルブルブルブル（（；。エ。；）
ブルブルブルブル（（；。エ。；）ブルブル

パ！（（（（（（（（（（（メ／（（（（（（（（（（メ）
ゴト

柊「鬼の頭が・・・」

「あなたはいつたい？」

パ

ソコン室前

よっし〜「よし 入るぞ」

ギィ〜。

よっし〜「これは？ なんだ」

ホスト風の男「いらっしやいませ」

よっし〜「ここはなにをしますところですか？」

ホスト風の男「ここは頭脳を使う部屋です。おもにその学年にあわせて が決められております」

ルール説明

- 1、例）2年が1年をといても はもらえない
- 2、勝負（問題）をするときは掛け金（ ）を1個だす。負けたら1個没収。
- 3、 が0になったら即退場（教室行き）

ホスト風の男「以上がルールとなっております。不正のないように
よろしくおねがいします」
よっし〜「よし いっちょやるか」

ナレーション「柊達は鬼から奇跡的にのがれとりあいず一安心。

だが彼の正体は？そしてよっし〜は何を選ぶのか？」

次回

「男の正体」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1481q/>

鬼ごっこ

2011年10月8日13時38分発行